

横須賀ローターアクト ポリオ(急性灰白髄炎)撲滅キャンペーン募金

生徒会参加活動 報告書

活動日時：2019年11月3日(日) 9:30～13:00

活動場所：汐入駅周辺 どぶ板通り

参加者：生徒会3年 佐藤 2年 石田 1年 三浦・藤本

報告者：生徒会1年 三浦果穂

補筆 武田 校正 荒川 伊藤



◆ 活動目的

- ①. ポリオ(急性灰白髄炎)の撲滅のための活動を多くの人に認知してもらう
- ②. ロータリークラブが後援するポリオ撲滅のキャンペーン募金をインターアクト活動として行う
- ③. ロータリークラブ参加のインターアクトとローターアクトの交流を深める

◆ 活動内容

世界保健機関(WHO)が、天然痘の次に世界から根絶しようとしているのが、ポリオ(急性灰白髄炎)です。小児麻痺といったほうがわかるかもしれません。日本では、1980年を最後に野生型のポリオの症例は無くなったそうです。世界では、2017年の時点でパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3か国での流行が未だに見られます。ポリオ撲滅キャンペーンとはこの3か国に対する支援を募金によって集めるものです。ポリオワクチン自体は約60円だそうです。国際ロータリー財団では、連携しているアメリカのビル&メリнда・ゲイツ財団より、集めた金額の2倍が寄付されることになっているため、それこそ100円の寄付で3人以上の子どもを救うことができるのです。

私たちは汐入駅にあるメルキュールホテルのロビーに集合し、活動内容についての説明を受け、どぶ板通り入り口へ移動しました。4つほどのグループに分かれ、10時から12時までポリオ撲滅に関するビラを配布しながら、募金活動の呼び掛けを行いました。

◆ まとめと感想

私は、今回の活動でポリオ撲滅に関するリーフレットを配りました。一人当たりの枚数は約 50 枚で、配るということ自体が初めてだったので少し緊張しました。通行する方たちに近づくことが怖く、しかもなかなか受け取ってもらえず、ダメだ、辞めたいと思うこともありました。そんな時、生徒会の OG である山川先輩(6 代前の生徒会長)が「最初はこんなものだから、一緒に頑張ろう。」と声をかけてくださいました。

また、人が近くを通るたびに、小さい声で「いけ!」「がんばれ!」と背中を押してくださいました。お蔭で、活動終了時には、任されたリーフレットをすべて配り切ることができました。

最初はどうなるかと思いましたが、諦めなければ、やり切れることを知りました。ポリオ撲滅も諦めたらできません。みなさん、ぜひ協力してください。

記:生徒会 1 年 三浦果穂

